

パネルディスカッション 5

「高齢者の消化管癌に対する内視鏡治療 ―適応・マネジメント・限界を探る―」

司会 草野 央（北里大学医学部消化器内科）

八田 和久（東北大学消化器病態学分野）

高齢化の進展に伴い、高齢者の早期消化管癌に対する内視鏡治療の重要性はますます高まっている。一方で、高齢者に対して非高齢者と同様の適応やマネジメントを行うべきかについてのエビデンスは十分とは言えず、さらに治療の限界など解決すべき課題も多い。本セッションでは、高齢者特有の背景を踏まえた適応の最適化と安全なマネジメント、および治療の限界について多角的に議論し、日常診療に資する知見の共有を目指したい。